



## 「がん」の細胞は、どのようにして増えていくの

### 「がん」の細胞は、何かの原因でできる

人間の体は、60兆もの、非常に小さな細胞というものが集まってできています。

しかし、細胞の中には、体の中で、古くなった細胞は死に、かわりに新しい細胞ができるものがあり、少しずつ、新しい細胞と、入れかわっているものもあるのです。

そして、この場合、細胞の中には、新しい細胞をつくるための、「遺伝子」という設計図のようなものがあり、この設計図を読み取って、その指示通りに同じ特徴をもった、新しい細胞をつくります。

ところが、何かの原因で、正常な細胞とは、異なった性質の細胞（異常細胞）ができることがあります。これが“がん細胞”です。そして、このようなことを、“がん化”といっています。

### “がん細胞”は、正常な細胞をつくるための指示ができない

“がん細胞”の「遺伝子」は、正常な細胞をつくるための指示ができないため、正常な細胞とはちがう性質をもった細胞（異常細胞）の、“がん細胞”を、どんどんつくって増やしていき、大きな細胞のかたまりになっていくのです。（監修・保志 宏）

### がん細胞の増え方

